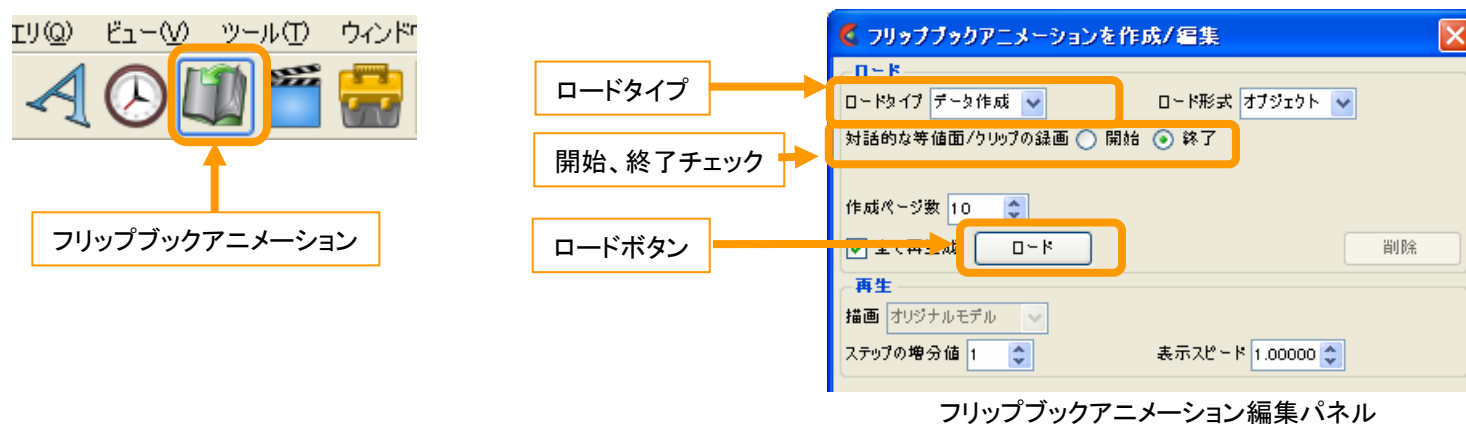


クリップ面、等値面アニメーション

断面や等値面を連続的に動かすアニメーションです。
個別に動かす他、複数の断面や等値面を同時に動かすこともできます。

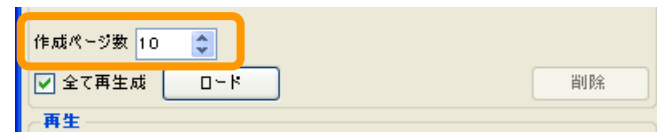
この機能はフリップブックを利用します。
まず、通常の手続きで断面や等値面の初期状態を作成します。
次にフリップブックアイコンを押し表示されるパネルのロードタイプ [データ作成] にし、
幾何学的な等値面/クリップの録画の開始をチェックします。



作成した断面や等値面を操作し、アニメーションの最後の状態に変更します。
変更後、フリップブックパネルの幾何学的に等値面/クリップの録画の終了をチェックし、最後に [ロード] ボタンを押します。

クリップ面、等値面アニメーション

ロードボタンを押すと、開始、終了間を等間隔で補間したデータが作成されます。初期状態では、開始から終了まで10ステップで作成されます。必要に応じて、作成ページ数を調整して下さい。(パラメータ変更後はロードボタンを押して下さい)



フリップブックアニメーション編集パネル

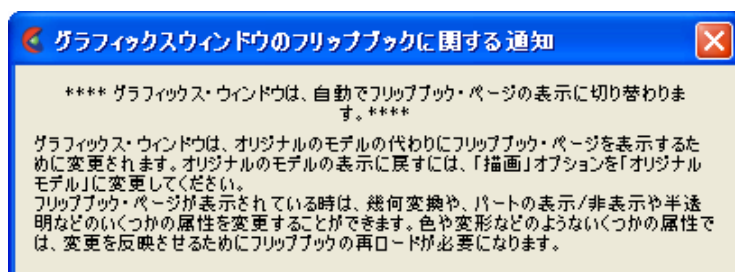
再生速度の調整及びステップの間引きは、表示スピード又はステップの増分値で調整できます。



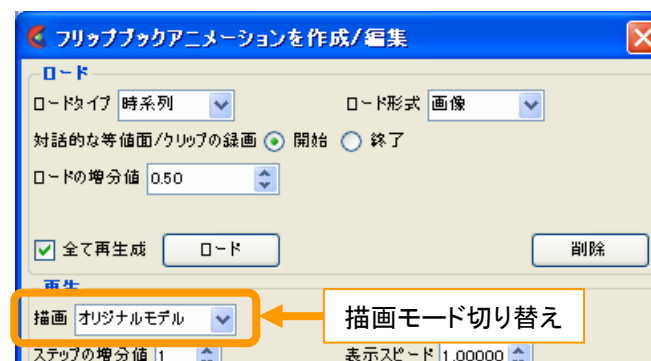
フリップブックアニメーション編集パネル

クリップ面、等値面アニメーション

フリップブック再生時、以下のメッセージを表示した後、専用モードで再生されます。フリップブックアニメーション編集パネルの **描画** を **オリジナル** に変更すると通常モードに戻ります。



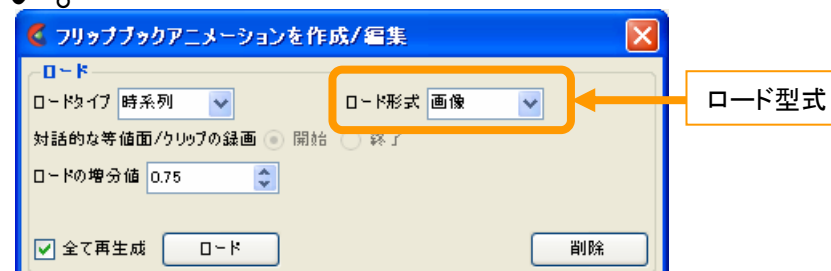
フリップブックモード切り替えメッセージ



フリップブックアニメーション編集パネル

フリップブックは各ステップのデータをメモリ上に保持します。オブジェクト(3次元形状)か画像を選択できます。初期値はオブジェクトです。オブジェクトは、回転、拡大・縮小など幾何変換が行える他、EnLiten ファイルへ出力できますが、メモリを多く消費します。ステップ数が多いデータではメモリが不足することがあります。この際は、ロード形式を **画像** に切り替えて利用して下さい。

フリップブックの詳細は、HowTo マニュアル 又は EnSight Users Manual を参照下さい



フリップブックアニメーション編集パネル